

第2章

「中学校『総合的な学習の時間』に ついての意識調査」

調査概要

調査概要

中学校の「総合的な学習の時間」に関して、意見等を広く聴取することを目的として、以下の調査を実施した。

アンケート調査

「中学校『総合的な学習の時間』についての意識調査」

①調査対象

○山形県内にある、すべての市町村の公立中学校に在職している教員すべて

②実施方法及び実施時期

○実施方法

山形県教育委員会・義務教育課に相談の上、実施した。さらに、山形県内すべての自治体、すなわち市町村の教育委員会にも直接問い合わせ、今回のアンケート調査の実施の可否を相談した上で行った（自治体数 35）。

初めに、電話にて、各自治体の教育委員会に当該アンケート実施の目的について説明をした上で、依頼のメールを各教育委員会宛に送信した。そのメールには、当該アンケートの実施依頼について記載した文書を添付した。それに基づき、各教育委員会が、域内の中学校においてアンケート調査を実施することの可否を判断していただく形を取った。

その結果、多くの自治体から、当該アンケート調査を域内の中学校において実施することにつき、前向きな回答を得た。また、検討し、後で回答をするという回答を得たのみに留まった自治体もあった。ただし、それは即、アンケートを辞退することを意味するわけではなく、「アンケート」を実施するという回答しなかっただけであり、実際はアンケートを実施した可能性も十分に考えられる。

アンケートの実施方法についても、協力を得ることができた自治体の教育委員会の意向を最大限に尊重する形を取った。具体的には、各自治体の教育委員会から、アンケートを実施させていただくことにつき、以下の方法のいずれかで実施させていただく旨を伝え、それを選んでいただく形で実施し、すべてその意向に沿う形で実施した。

- ① 各自治体の教育委員会から、域内の中学校へ、調査者が送信した上述のメールを転送していただき、そのメールに貼付した URL より、当該学校の教員に Google Forms で回答をしていただく形を取った。
- ② 自治体の教育委員会の中には、Google Forms を利用した Web での回答よりも、紙媒体でのアンケート実施を希望した自治体もあった。その場合は、各自治体の教育委員会で、Google Forms で作成したアンケートの画面を紙に印刷していただき、各中学校にて実施し

ていただいた。その結果は、後日、調査者宛に送付された。

- ③ 自治体の教育委員会の中には、Google Forms を利用した Web での回答よりも、教育委員会で実施し、集計も希望するところがあった。今回の調査では、最終的には全県での結果しか、報告されないため、町内での取り組み状況を把握したい、というのが理由であった。その場合は、紙に印刷し、各中学校での回答を取りまとめた上で、集計も済ませ、結果のみを、調査者宛にメールにて寄せられたケースもあった。

○回収数

上記の手順でアンケートを実施した結果、以下の回答数を受けた。

総回答数 146 件

○データ・スクリーニング

すべての回答を精査した際、自由記述の空欄を除き、欠損値を一箇所でも含むデータはリストワイズにより除外した。また、回答内容を吟味し、明らかに同一人物からの複数回答であると判断した場合は、1 件のみを残し、残りを除外した。

○有効回答数 128 件

○実施時期

令和元年 12 月 25 日（水）から、令和 2 年 2 月 10 日（月）17 時まで（ただし、事情により、回答が遅れるとの連絡があった自治体もあり、その場合は締め切り期限を 2 月中旬頃まで延長し、回答を受け付けた。）

令和元年 12 月 25 日

山形県内 公立中学校 学校長殿

山形大学 地域教育文化学部
児童教育コース
准教授 金子 淳
(公印省略)

「中学校『総合的な学習の時間』についての意識調査」

のご依頼につきまして

日頃より、たいへんお世話になっております。私は、山形大学地域教育文化学部の金子淳と申します。

ご存知のように、昨今、「総合的な学習の時間」への取り組みが盛んになってきています。その状況に鑑み、私たち研究グループ（山形大学、山形大学教職大学院、東北文教大学）は、「中学校『総合的な学習の時間』」の取り組みについて調査しています。この調査結果をもとに中学校「総合的な学習の時間」に取り組む上での問題点や課題を見つけ出し、その問題点や課題に対する対応策を提示することによって、より良い「総合的な学習の時間」のあり方を先生方皆さまと考えていければと思っています。なお、この調査研究は、「一般財団法人 理数教育研究所」より令和元年度・2年度研究助成をいただき、「理数教育と英語教育の連携を踏まえた、中学校「総合的な学習の時間」研究」というテーマで、取り組ませていただいているものです。

アンケートには、以下のURLと、右のQRコードからアクセスできます。

<https://forms.gle/AZHdRskHEvXcSXpj8>



このアンケートの回答は、自由意志によるものです。回答拒否が自由にでき、辞退しても不利益を受けることはありません。アンケートの対象者は、公立中学校勤務の教員すべて、です（講師・非常勤の先生は該当しません）。

回答期限 令和2年2月10日（月）17時まで

調査結果に関しましては、「一般財団法人 理数教育研究所」に提出する報告書を作成させていただき、広く公開させていただきます。調査結果は、ご希望があれば、閲覧することが可能です。以下の連絡先に、ご連絡をいただけますなら、調査結果についてお答えをさせていただきます。加えて、研究成果は、学会にて発表させていただいた上で、論文としてまとめ、広く公表する予定であります。ご回答いただきましたことに関しては、統計的に処理をさせていただき、個人及び個人データが特定できないように配慮させていただきます。また、取得した個人情報やデータに関しては、責任を持って管理をさせていただきます。

お忙しいところ、たいへん恐縮ではございますが、学校長の皆様におかれましては、どうか、ご理解とお力添えを賜りますなら、たいへんありがたく存じます。どうか、よろしくお願い申し上げます。

金子 淳

〒990-8560 山形市小白川町1丁目4-12
国立大学法人 山形大学 学術研究院
地域教育文化学部 主担当
地域教育文化学科 児童教育コース
准教授 博士（学術）
電話番号 研究室 023-628-4400
e-mail: jun_kaneko@e.yamagata-u.ac.jp